

3. がん登録の推進

【機能分担】

県立がんセンター	東北大学病院
<ul style="list-style-type: none"> ・地域がん登録の取りまとめ ・県内の病院における院内がん登録の推進、スタッフの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域がん登録への協力 ・院内がん登録推進のためのシステム開発及び普及

【現在の取り組み状況】

- 県立がんセンターにおいて、宮城県地域がん登録の取りまとめ、集計、分析作業を実施。(財)宮城県対がん協会がん登録室と連携)
 - ※平成18年度収集症例実績：23,042件
- 県内を中心とした地域の病院における院内がん登録導入及び運用について、助言・指導を実施。
 - 県内21病院について出張採録を実施し、随時実地指導。うち5病院において、平成18年度から19年度にかけて、新たに院内がん登録を導入した。
- 県立がんセンターと国立がんセンターとの共催により、東北六県のがん登録実務者研修を開催。(1回/年)
- 東北大学病院において、病院全体としての統一かつ効率的ながん登録を支援する「院内がん登録専用ITシステム」を開発。現在2病院で導入済みであり、今後、県内病院における院内がん登録の統一推進を進める。

【今後の事業計画】

- 東北ブロックがん登録実務者研修(2回/年)
 - ・県立がんセンターと国立がんセンターとの共同開催による研修の継続開催。
 - 県内のがん医療を実施している主な医療機関における院内がん登録従事者(診療情報管理士等)に対して、がん登録に関する研修を実施する。
- 「がん登録実務者育成事業」 **※県事業**
 - ・県立がんセンター研究員により、県内の院内がん登録従事者育成研修(1回/年)及び各病院での実地指導を実施。
- 院内がん登録システムの開発・推進
 - ・県内の拠点病院を中心とした各病院における院内がん登録の効率化、精度向上のため、東北大学病院において開発・運用する院内がん登録システムの普及を進める。
 - 県内全ての拠点病院における、登録システムを含めた院内がん登録の統一実施及び院内がん登録の実施・運用に関するネットワーク体制の整備。
- がん登録からの医療評価システムの検討。(拠点病院の治療成績や生存調査等)

【取り組みの方向性】

- ◆当県の地域がん登録事業は、県立がんセンターが中心となって取りまとめを行っており、院内がん登録実施病院からの報告に加え、非実施病院への出張採録を実施する等、データ収集をシステム化することにより、精度の高い地域がん登録を実現している。
- ◆同センターでは、実務者研修を実施する他、出張採録時に院内がん登録に関する指導を行う等、当県におけるがん登録の指導的役割を担っている。
- ◆また、より円滑な院内がん登録に向けて、東北大学病院が中心となり、院内がん登録に関するシステム等の開発・運用を進めている。
 - 今後、県内における院内がん登録を推進するため、県立がんセンター、東北大学病院、県とが共同して、指導、研修等の事業を実施していく。